

平成 28 年度 認知症の人とともに暮らす地域づくりセミナー 開催要項

1. テーマ 『地域づくり実践への道 ～認知症の人とともに暮らすまち～』

2. 趣旨

- 認知症高齢者は、後期高齢者の増加とともに急増し、平成 37（2025）年には 700 万人を超えると予想されています。認知症の人が被害者や加害者になる事件・事故が頻発し、家族がどこまで責任を負うべきなのか、介護の社会化をめざした介護保険制度を始め、地域社会の支援のしくみはどうあるべきか、議論の高まりをみせています。
- 国は新オレンジプランを策定し、平成 27 年より国を挙げて認知症の人の支援に向けた施策を展開しています。プランでは、「認知症の人の意志が尊重され」「住み慣れた地域で」「自分らしく暮らし続ける」ことができる社会の実現がめざされているところです。
- 各地域では、認知症カフェや認知症の人への声掛け訓練など、認知症の人やその家族の生活を支えるための取り組みが広がっていますが、認知症の人が在宅で生活していくためには、生活の場である地域社会の理解と支援は欠かせないものとなっています。
- 認知症の人とともに安心して暮らせる地域社会を創るために、地域全体の支援の体制やしくみを意識しつつ、当事者、住民、専門職、その他幅広い関係者の連携や活動展開の手法を考えることを目的に、セミナーを開催します。

3. 主催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
企画・運営 「認知症の人とともに暮らす地域づくりセミナー」企画委員会

4. 参加対象者

- ① 在宅の認知症の人の支援活動の実践者で、活動上の課題を抱えている人、次の活動展開を考えている人
- ② 社会福祉協議会、地域包括・在宅介護支援センター等、活動者の支援を担う人、認知症者の支援を切り口に地域づくりを推進する人
- ③ 地域貢献事業として認知症者の支援に取り組む社会福祉法人
- ④ 認知症施策担当の行政職員
- ⑤ その他、認知症者への支援に関心のある方 など

5. 開催日 平成 29 年 2 月 17 日（金） 10：30～17：00

6. 会場 (福)全国社会福祉協議会 会議室
(東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5 階)

7. 定員 80名（先着順／定員に達し次第締め切ります）

8. 参加費 3,000円

9. プログラム

10:00 10:30 10:40 11:00 12:30 13:10 14:40 15:00 17:00

受付	開会	①基調報告	②実践発表	③昼食交流	③オープンティスカッション	休憩	④ワークショップ
----	----	-------	-------	-------	---------------	----	----------

- ① 基調報告 「『認知症の人とともに暮らす地域づくり』とは」
認知症介護研究・研修東京センター 研修企画主幹
(本セミナー企画委員会座長) 中村 考一氏

- 本セミナーの趣旨である、認知症の人とともに暮らす地域づくりのための体制づくりや方策について基調報告を行います。

② 実践発表

- 認知症の人とともに暮らすまちづくりを目的とした各地の実践活動について、地域全体の体制づくりに着目してご紹介します。

- ◆ 「～認知症になってもこのまちで暮らしたい～ 認知症家族の想い…」
にっこう認知症・若年性認知症の家族の会／日光市社会福祉協議会
(栃木県)

- 認知症家族の立場から、自治会や民生委員、地域包括支援センター、社協等が連携した「声かけ模擬訓練」への企画運営参加や、認知症を理解し支え合える地域づくりの取り組みの実践。

- ◆ 「認知症カフェを核にした、認知症の人がそのまま住み続けられるまちづくりに向けて」

川崎市宮前区土橋町内会

- 町内会が中心となって、認知症専門医の協力を得ながら認知症についての学習を深め、地域の幅広い関係者と連携して認知症カフェを開催するとともに、認知症サポーター研修にも取り組んでいる実践。

- ◆ 「カフェでつながる・ひろがる、新しいコミュニティ」

(福) 天童福祉厚生会 明幸園地域支援室 (山形県)

- 特養を経営する社会福祉法人が、地域全体の認知症ケア推進のため認知症カフェを開設。先行運営していたコミュニティカフェとの水平展開がもたらす重層的なしかけと、新しい地域づくりの実践。

◆ 「“継続は力なり” まち・ひと・認知症マッチングプロジェクトの取り組みから感じたこと」

東村山市北部地域包括支援センター（東京都）

- 地域包括支援センターが中心となって、大学、自治体、社協等と連携しつつ、認知症になっても暮らし続けることができる地域をめざし、プロジェクトを立ち上げ年々活動の幅を広げている実践。

③ 参加者交流（昼食休憩）

- グループを中心に、参加者同士の交流を図ってください。
（昼食持参または弁当の事前注文のご利用をお願い致します）

④ オープンディスカッション

- 認知症の人とともに暮らす地域づくりを進めていくための体制やしぐみについて、実践発表者と参加者がディスカッションし、その課題やポイントを整理します。

⑤ ワークショップ（グループワーク）

- 事前アンケートをもとに、参加者の抱える活動上の悩みや課題を整理し、オープンディスカッションでの議論も参考にしながら、関係者と連携した地域全体の支援体制や活動展開の手法等について、参加者全員で考えます。

10. 申込方法

- 参加のお申し込みは、別紙申込書に必要事項をご記入の上、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店までファックスにてお申し込みください。
- 申込は先着順に受け付け、定員に達した場合は締め切らせていただきます。
- 参加申込締切 平成 29 年 2 月 3 日（金）
- 開催日の 1 週間前に、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店より、参加券および振込依頼書をお送りいたしますので、届き次第お振込をお願いいたします。
- 研修会運営の参考とするため、**参加者には事前アンケートにご協力をお願い致します。**（送信先：全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部／下記参照）
- 昼食の弁当の注文を承りますので、ご希望の方は参加申込と一緒に申し込みください。（1,250 円／税込）

《参加申込先》

名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店 担当：波多野・山辺
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階
Tel.03-3595-1121 Fax.03-3595-1119

11. 参加の取り消し

- 参加費入金後の参加取り消しはできません。セミナー資料の発送をもって代え

させていただきます。

12. 個人情報の取扱い

- 申込書に記載いただいた個人情報につきましては、申込受付等委託業者（名鉄観光サービス株式会社）と事務局（全社協高年・障害福祉部）において、共同利用させていただきます。個人情報は、参加申込受付、参加管理等セミナー運営に必要な範囲で使用いたします。
- 参加者間の交流に資するため、申込書をもとに参加者名簿（県名／氏名／所属団体／役職）を作成し、当日参加者に配布いたします。

13. 内容に関する問合せ先

社会福祉法人全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部 担当：河辺

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL.03-3581-6502 Fax.03-3581-2428

E-mail:z-konen@shyakyō.or.jp URL: <http://www.shakyō.or.jp/>

《会場のご案内》



- 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩5分
- 地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分
- 地下鉄千代田線／丸の内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分